
明倫短期大学学会報告

第24回 (通算第107回) : 2006年10月26日(木)

(座長 : 小黒 章)

**歯科技工士学科実習室における
集塵機性能の検討**

五十嵐雅子 (講師, 歯科技工士学科)

教育に携わる立場から学生の健康を維持するため, 歯科技工士学科実習室の粉塵問題に着目し, 集塵機性能の調査と学生対象のアンケートを行った. その結果, 学生の工程が同時進行する実習において, 集塵機の吸引力は著しく低下し, 机上および空气中に舞う飛散量が最も多かった石膏やレジンの切削作業は, 木元氏らの報告による呼吸域に到達しやすい粒子径の粉塵飛散量が多い技工作業工程に相当した. そこで, 集塵機性能の検討が急務であることを言及した.

**明倫短期大学附属歯科診療所の
患者の実態と今後の対策**

米山竜也 (歯科医師, 附属歯科診療所)

生野美絵 (歯科衛生士, 附属歯科診療所)

少子高齢化, 近隣への歯科医院開業ラッシュなど全国的に患者数が減っている中で, 明倫短期大学附属歯科診療所の今後の更なる増患, 増収のため, 新規患者の獲得, 既存患者の流出防止, 来院頻度の向上, 診療単価の向上などの対策案を考えた. 私共診療所ではスタッフ全員が確実な知識と技術で患者さんが来院し易く, 様々なニーズに応えられるようにして行きたいと思う.